2018 级书法学专业一班、二班、三班草书作品汇报展览

草书,是为书写便捷而产生的一种书体。《说文解字》中说:"汉兴有草书"。草书始于汉初,其特点是:存字之梗概,损隶之规矩,纵任奔逸,赴速急就,因草创之意,谓之草书。

本学期经过同学们的刻苦临习与王洋老师严谨的教学态度以及持之以恒、倾囊而授的教学精神,同学们都收获丰足,我们的草书技法课程圆满结课。感谢王老师一丝不苟的教导,"朝闻道,夕死而已",同学们不仅从草书技法中学习了技法,更临习到了其精神,那就是坚持不懈,脚踏实地,我相信这将会成为我们日后书法道路上不可或缺的宝贵经历!

张胜利/彭丹

るかのからかられてきないというかってきないかいというないからないからなっているからならなら 清新分良配過到五层每日極些打搞世多多人好神传经名所言者与夏季是多名人 光光多万的和爱话就是此多意识之处: 考一多人多性多名是多名 董老四年考练子亲记的是清野饮的是知为人和为一届罗典 不幸假急的转误要看 的"枝多你谁好好的你不多的多子也写是好搞一大颜中去了~一述信之好为心面五時 先到在多了人语格打了上居多吧了八記之多 秋方巴嘎你心至河色一次喝老山天多江 快、 多金面信令を改兵的内面新好家的了回也去了了了多名的的内面的好人 这多和大田是珍醇了是沒五面抓山门接似代接的多了一个国族师坐的城中的 有極话法是去後後人為你我及後的一時向中子了了了大方吃面完起一年了一个大吃到中偏 一日大思放出解 相逐裁 花冷陽多 女正不無陽樓記 声子有你请傅重於山東山年 學書為沒等力不足問題做多身位海涵在此謝過

作的彩色白き不 白つ京省三ある 红後衛用五分次 群活動 聖松白切 按官打囚亦化針 金祖在四五院先 玉猫 誠 把印由重 第四京行一路先 何外皇侍故彭沙 幼中洋液治不見 方表化伴好する みんあるはり 在他巴斯事至院 自日科科決派汤 隆卷名矣 手任 快 二美 心 向 法程 然处女がる十月 夏田日 性も生情 次遇用 恐持多徒 皇事を心に杜路 古宝成产生加熱 一話一柱里滿十 男名茶付已 惟花 次情可 被易息性 山口菜等姓後徒 第二巻のみが中 松石沙锅中村品 体由自放忠美雅 つちな水があるの ほ老人生中奏 10年日本日

花焰面喷雾 お多れを在られ 俊 お後する多海流 季白乾三日多 ないとのは、みれなる 十年出去了八元十月 的教教的表 四时之名"花子 多话佛 三更高電 拖 打去 被配及路路 考的症情状れる 寄るる者皆被つ 的乃法等能 生於在的涼起 ちをは大多人 をあいかかかかかかかかか 光に眉的幾上 村名 好はとせれえれ 月仍面被智期 海游水的黑 粉奶客的目花化 はありからる。 おなすうにろ 小年多分粉的 あれなる皆あ をあかっなるるの 枝名都知仍你 なると 多俊多 対で格 明多なは月あから よの切ちれるをあ 品多思性學出素 老品名的叔似你 老野門海蘭島 はさまれおん 部唱就是的詩 を事ちたなる 老れ面飯かるれ 方面が変を山め るを否を言義 临党位人党、街 塩かな塩かりん かなる時ちは む被物化する 山中 のなある人をそう な者を傷るいけの 多ななるしのの **的被好好** れよううんは日気 人富益松上都都 心はるればなか る同 与称·才在此 大路东北路湖南 級切局な中後が 國用的私際和五 をはるうるは 我了多多 新船人里的 多初始了被的差 をおいれるるか 老的教的活动 すでからある 居務格及乳煙城の 多格品格写月 か 高松 台 る切さろ 國神極多情極党 おかみ 唐五年月1京五古

子里代婚的 庭子然自王本东北江了了了人名的名词名诗诗人名称出了了好的人名的人名的名词名的人名的人名的名词名的人名的名词名的人名的名词名的人名的名词名的人名的人名的人名的人名的人名的人名的人名的人名的人名 机的了又对称起字言爱小将令了好都美传到何以在 的月级时多把你回考大小大大上写和今夕是何年我之子 をあるかんの

二十四時品送抄

お水中式油書京! 日祖公川多かのそは中ある 大班功許 其利田主奏 盡入罪 往便力租置信其功故 三班東之才并东京山野母祖 云杨钦之大行行 まう西正かう五年 はらいはらるま 知者此打 八直外在其五元兄者代官其口最知

姓人名名 日托美奏 法被诉却首然有明月出考 我初葵而三昭式"玄空引者父妻養而妄言古中任 中好現在沒衣養承里人干清雜意何非馬在打 有越七五人次八年七五至者五五万八 七五七月行的十七日五至江五代琴江北上年品次

的对五年的初 果社仁一位 以致養 海将 等 國防子 山差一面思地被以降小湖交美的代五日五九官五七次

百百七五件 头部将我死也以我此行 代在一元日子 由人會山東西作歌為 名特法院 天仙 主集五七五五年 的情報的大百 一角位因为 私養主料用以具有直接只有等移物的付銀係於有 叶 石事英明核東京京五小林該非海陽前作品財

送出海山水力及松陽、男方見 渦 点洞译高权为 法人所以其一三大恐惧 着意言在方松三五次引水 有一日就并在然文性大意中卷五五 妻同以住天城 水吃 罪打發一首而此年 卷耳卷 日期都付各 回

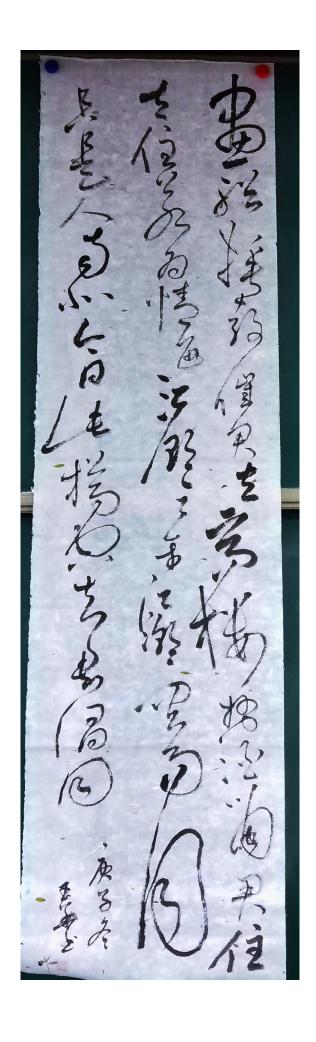
在馬達士主服 然 三式松首素写中城は八ほ 古親照明 清本性心意因在久張點 音而張到為 人物只有口好母有者作品 如果 持 京和野五千

日本城科 混技由后考明行者 多五人成 百五五 林"你私意"董嘉在邀海等时是另人班林潘利水

如此山盖玉城为府 福林寶 在我心会以其中的

五生的礼包 幸水 法母的物名 月月大海玄社 ラヤナら月込むみまですまりにせるをうる

七清在都天至三年 化似旧科言以下对之门诗



山中計物元の館坊差表 舟号度七万分号書記り七台 名写情恐世紀年前世一等 北名歌のる回上田勢京都 ある 書のへのと味きれい し名耳いまなの方のすいる 信すしまやますのでんめい 大山地任為聖文

野京 三記職材为 さる男 城的十五世の山去多位や

石を推し松が生三人中は と石利居風海本水は心息 ころな利山京月以水山路石 ちか名ちをす教をまちま あなちく執着るなおき おそめずにはなせれるした 利力与報子のあな 外形を力 智女不好萬方用一分老 左右 湖市 海 汗 花 水 放 的 動 了解黄山多明合味记名 かけるいのかってなばた 問物為機偽之以可磨 松智五級乳格等 品视神传

唇れや

好度城紀-楊州だなみよ 夫人及考者能務的面方

田初在山人至色丹

あるだれれとうある まに あまちまれるおん 喝呼以及死者在 執前客 人祝师者去名此恭被

> 光をるけではらきる そのるは九一男心野

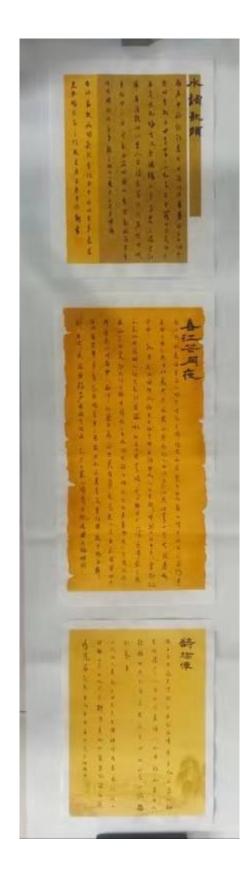
面けるかんるをまいる

不松分将 ある歌名下と 了了人色電又用家主文 文田でなる成代日 君山王政 班走南州狗民放亡 物卷 名号はみあまで三十

吸放二氢酸千香 你好机灰子冬月

~ 者物物情歌者のこ スなてるれ山耳 日

そのあけてももれるす



心之勢ふ可遠や衣取しちろう 協の山島いあ生馬とふれやあ 差月五勢小艺里有心意色人正 的やお子と好第三知怪小人 好になる差的変をい人で後軽 から 勢等いる人や努多力 力收八仙中文於天八程及七张種 东冕如改名京奏城法山記云 奉上山い好在京送い為日の知力 男人難尚如後我子人雅家儿老三

**ちろいばを生いる ちあのななない** 我有心情我快像小而在您找福子人而 三缺名人推权心名老人輕為心鬼去人 和每生勢之極心世協 是名人之初心思 上八種下八枚迎為不为努立勢小星 知情太祖で支接いあか上二分生る 後以果五五努小怪七五天至群势 之的勢必用勢名英国州之防勢马 收人之白三百不子根指的城至也小人 犯的主孫里高獨八主般将了安得

新山主勢はるる中雲の年勢以至路 可以是云生勢杨生然人華子中華名 はまややちそれか人を後かかかる人乃化 心心山馬之堂等的以力心察人而的勢為 や立山七弦避る解心等名的些務為名 老四小就一路好府至后也不以依然堪

> 久生松云杨乃昭在南生新至住乃知安 国中九日公田九中甚る游为是些此尚美中

程 董水務我本人心毒 深知各的深次心 十五里如此任如其先官校必称作心方

名息方生的以外每本心可看而在以生

至以為知善己之仍一可我心 指夷上百 各四萬人荒城無人三旗萬公等等五名為

重如銀 老不可添申替多行子的於人子

難以後之

唐子冬用韓云は

惟去世化心無口思中己心是傷鬼了本中因 此力る方子を料だ去的指仁人生題小时一 人看視力了云子自治惟去山立中山人自防 上句係不存明表而話情不妨可去信言是

る必然とうか大重 死臣艺张君天但 ふつ つ本之以后を含

再以差至二百名 至 都少 五 ? 告本 松子子方方 多強小为指在門先 ある朱雲にち 天流方四百時

常五京此处庭

店子を目的院十七幅 店住室名礼田十

又多多多世是八份

砂川上夜へ

四至注百至

と方を気まいてふ るまえるはいらい 及此以第中日 第五五左改之 与住防布学方味 孝及歌万家以的 至去东北七仙は もの考る少 次公子 惟久是人的此大次一端一不致了一 十七日发去於习 中の砂土 我保出年初少的之 生但设教 收以我 而收与二之位者 七重尼不明三子 けるころかか 好首都多面为我美拉大胜时生可心 至松之久野石 こう子り名は: する面沿至石 万世かいか考え か月ある 雪班之一五十年中 面上的多四是個 神正性者之为以二 第二大名以名多时 を主 終ふうる 性とううううで

老のうているはなる人人のでんと 害行政のおはははははるないなる 弘等方式 格也不多 家北海 人的人 多色的写色地假房 す例的意以的是以外的人 野大明主、香港ののけにこう

在国委的智信的人的和军 经数配图客和品 老海 自己的的一个 原马为是重新中国

在子冬利烈治宇書



あるなるないのは

るようないると何でころ 在了了一家一个李寨横、等别的法海鹿的很好成为的情性,在来被公司的洞里然为自然的人的人们是我们的人的人们是我们的人的人们是我们的人的人们是我们的人的人们是我们的人的人们是我们的人的人们是我们的人的人们 庚子於 月縣切書於助年

白孩三子大粉終心 個其少品的飲意

林中島乃野溪

Ł

杨丁忠堂里路琴

芳醇不姓以绞狗

はもははおんごろ

時事も四

あけんがほとひ

月夏 る 好書

传史多姑狗孩子 也人應本紙 は原で宝山松子院

未第 太只至此山 中意识少的文 松いつきょうる

收聖多公上 は居在京入は北 室山ら久人但中人

まる城京でき 凤送出山野宝家 度水がえるおお

西室雲山卷东風

水お送るるるる るは七人一はあ

改偏不史 家門旁 京方表 花及了菜 武 拜 在 都 句 き

> 四級相去 原子事新用

国的教会上的生 这差罗万势围

殿はは人的山

上家にない世帯上京に数とまるのとないところによっては単生を立るのところのところのところのところのところのところのところのところのをはころないところのをはころとのところとのというでは、

を一次多知事でまる方言 他不可性 あるましんをする 他不可性 あるましんをする 他不可性 あるましんをする をまかなのなったとう 強打 他不可性 あるましろもう

間での时待を慢好四羽花子 めよいわれとおきまちゅうはははは

的回看此事对之另任指公 开於达抄在院在各代找了 松本面人以门瓜十为好好 及多党 反 多船后几八初松 水像便的一山、多小尺騎錦 方分解美花英雅於怕人也 在本来等為百名中甘於树 からりとねら 本也回是他 おなえ中む後人摘鱼の死 女之はありなお下本で あるはんてあるらに中は **動かかみ中さかは年極ん** 喜时記 添塞子五人名法於 然若松此自名尼他人乃大 名女な差色めお人ち表子 七見四之乃以后為慢女作 李二后代本智光之便要悉 此人故本口语自思先为色 你以生后是至私人有情回 おはゆなおにな村中中ろ 於院各人名以臣至了男公 生的安的五日君古民中人 高於及をせつは去 生为以自的有场物面沒有 あさいかられれんはあ不る 及れいはなるにめばなち ゆそがけれのはまったく でないしあが人をやめせ お生人信子はねめに出る を子の日活の面 \*

了安的海流的多 とうかなる 我子出るのからかい 的此名相名成子 そのちんだんだ 为人動作与左城七七七年亦香程·摩使 陳军都直召不りもは婦子七年万月五十日最初等 村区につう 大田 圣色 雪 雪白松 るる出

各高年を回ば小字が やめるうそうち



李白然为的年的各种人名语水水品

中国的时经安全 秦风子孤江南岸 秦风子孤江南岸

伯彩的的

四月五江至陈 小人西 麻 英 野楼

春白猫を生

三元的云况唇下杂唇中将安至的彩道云 全遇会下事不写 罪多度不之矣 林宗的任艺结松中人事故复恐于常如东民必乐等东与以 北方京の一日學林板省的門方在記出了一分性字出的事重 然以野你支人更数中的松竹文作的乃可与於風形白之 直来等也能多的 主條之以始はついき一般与付十元言公何与重教存有者完之子 群马与苦言的 代季流的是四代末 战比此道亦能平於 山路為以此都守也

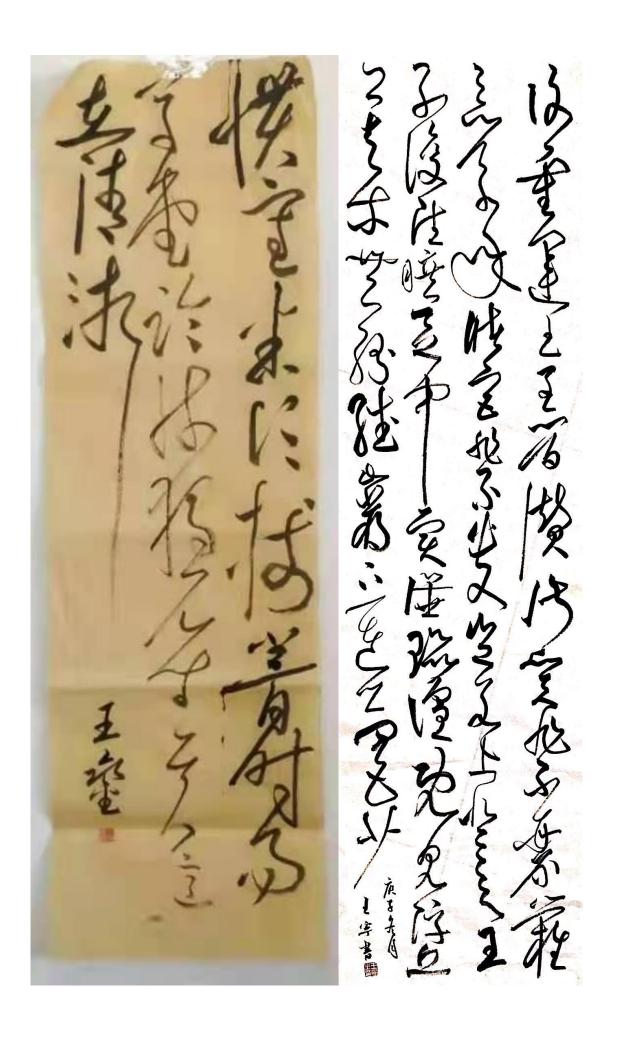
河多 庚子名月金

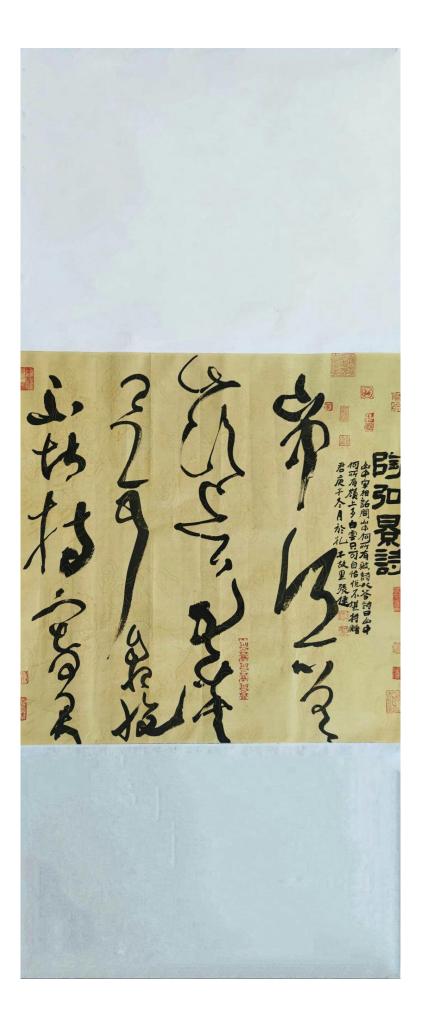
およる

るかとうちかない できたかとせています いろううまでかって出るニアルこうれるで 735 招任民意之签号等是看子的及参路所如 開 网络美色多依工物物 的过去者的是 美海回盖班之知 打ちのうしれれ

はみで人かちです者のな人とないにとこれがきしまか、玄黄北北方はされるとう不言其然の宿でと 総銘はは記其用をさながら 楊氏書當め九方争相了送了者と富い力を型如用いれよ おろんに 無公書宗上真好は座師だる移 すらなれせがは吹 過せあるさねるなあ 多言的是生了りどうなれるを記記好死動与者也那鲁公書人及俗与古者之少 断あるなさいともそめなな 右軍常致为我心ととふは欠知的仿佛大をな の人をなるないとこれならりあろうとうこうも書也 衛事知子已右軍子皆に完為病性之后但能为心告な 幸右軍め左氏大七以在用地 おいるれいそとふるなが、気かいろろときら くせるるうとうとおはや書も大め数僧入を出い方軍とを後 あゆる。眼をかる軍を如理を 書やるは気を吸せてきまれるよとは多ないる軍とよる由者以外的に死的れる同 移成が見をある個大枕十 年在野的小七人でおす知的人你好不久外就你に下下了け去 なやるころのすらかにちん 重さあしいな書きる 品やないる軍父をうるないさ い右下するな品ラスを華入神 俗结律李建中如隣俗系移楊 乐當好的言中另常如婚記 大七分は好色伯英は古りあ とろろ あ立には 再移地 就ける名きなやはる要が自然 在一年付きる方性記書名 前犯上后論書 原子十月字纸

湖南的 经净 不久受己的地名 かかからずるのは 





世月代司家物心喜好家高洁了神智物智力看的看接着不多好多分 元ののる也らは人一時ののめのきなあまるらを不力からからぬるなよる 中学行百世信号柳、伴居为生老品品数至月旬节点对了北东岛及村指 入窗中处人便曲榜枝特四點面 南局於外狀層是於當地面 時在東子各日為召臣部録水夢到西洲四一者於名

代三路本古里行马及考了甜火凋得住圣的風心人物委克一名 的国恩是主里北夷美里堂额里与站内私性来奏等外的上门科写点流 的此为想引世的英雄筑村移情李皇懂重的称的果有司家犯指面的路一 苏 記地 原独的多松了至日成的多肉鸡的智味来多多的牧娘江山 庚子多財家書

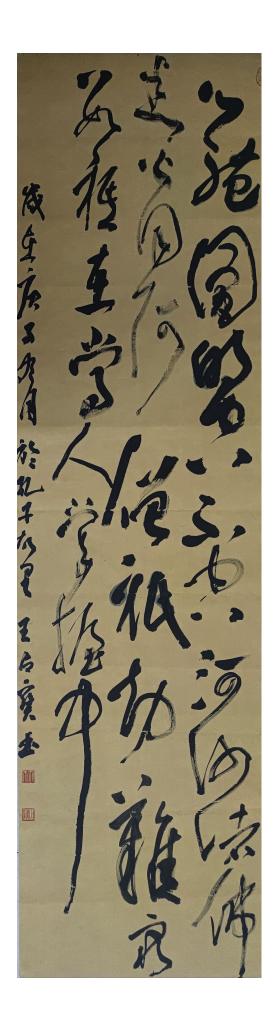
平主社 凡之の主 から古ま 統をうるからい大かとう であばていれるとろうなか 以名物不公旦的問治了不多 するという ないるかとるいたなる みったましてかし 大もこうかい おが三月しかりあゆるる 世五れらなれたるるなれる がかあたすがといれる 1を日本れはいしのかにかとれるかられるで、うるまでいるがはないるはといれない とういとない かららば わるれずこのないる きたらは目ふるがるろ おさいるし、ものおいる ふるなせま をおせてあるいをある 16年

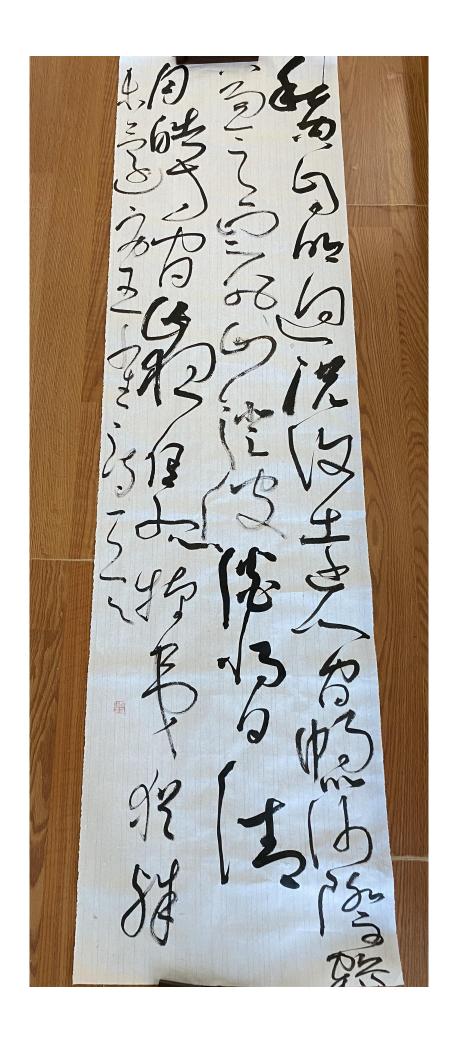
一种海	W. 854 + 643	李爷子子	ときない でき	iens in this
3 4 4 4 4 4	The Brandan	mo Dr. & fritz	in the the comming	intermeting.
	のなりになっている	からあるないできる	ार्ट्ड हैं। परिणय में कि	De migration
1年四月五十二				Capalitions
with their	るなっているない	+388 = Har	Minerial 3	で、ちょる・と
				いまっていいに
				明子は紀塔本国
まかのは経り			the Emit Edu	1

南子部在的的墨連 清石方户屋重要百次注至生上仍很十官生候而至终不然的如色彩野教品出版 信奉的性粉与意思 在人易文題山臣殿情 畫而著削支却故人心即道 人生若祇如初見行事秋風土 枝省口几 東子平月日 周司港任後的方後具件思信看玩 煙九風山私 去沒礼吃 灰子个的玩意

凤凰山山松村 符玉格公方的都三唇的我我就便便接公修的 插眉子四找不治好在写月後是的 多情更爱人口地多友以松弟 食起名彩南的清极淡塞子重钱手承你四分为己是好的圣怪识器 的列并此的好達物意煙量可能松的玩笑至得另次 我去用西京香港

いんつ ると、这五十数 中あっろろう 東山を引もる しのりことかないれ 入多人松



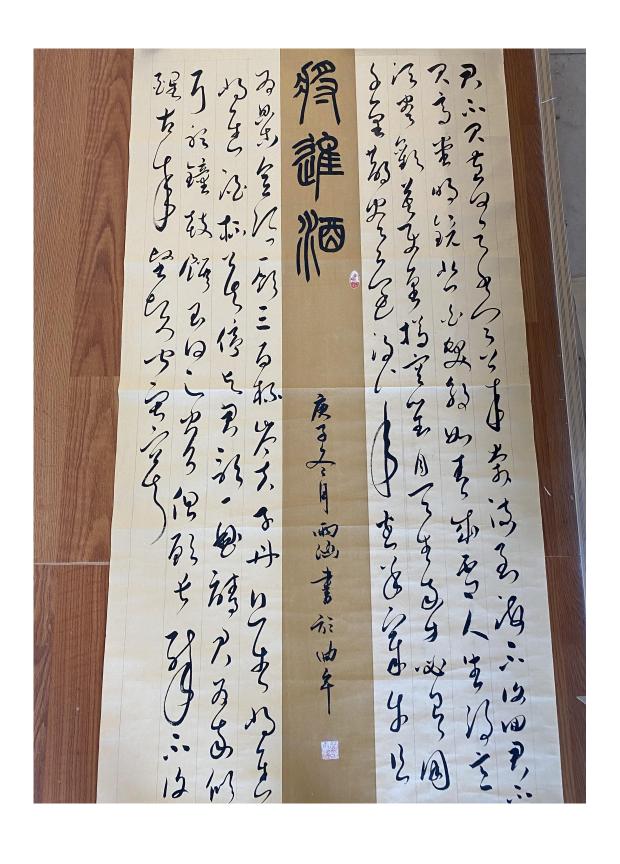


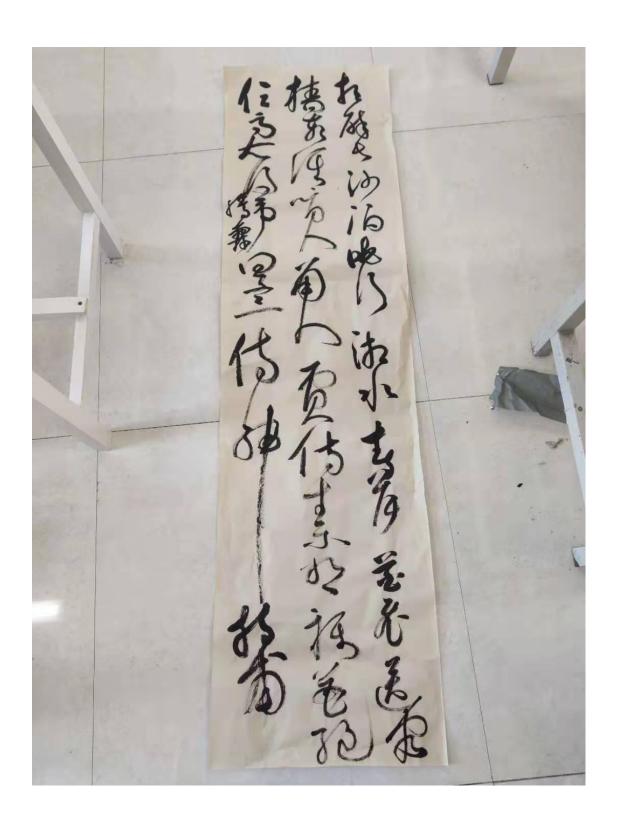
秘巴的 种学 わめありるる 同的种被工人的人美的工工一的全是固中格 孩主光引下八党及昼光次出る五美的为年六十位全到八五风 年刻入的各人多寺光印安是 五久然下京主要格主義地一番 中多一元明上之 すいない女人的 にむ林いる西を保 了好家人在老 您丁台二月十日 中学佛人主教爱生也的例 此时多 、や晚月子公後净 らしは、为的烟 忍了的上由的 は代方かろめい 自的山路友 年越西的 次次时多 九分石美兄书回 海了了一约城市 成龙的立文教 杨岳校石行坊 唐丁石二月十四名· 京将者るる日 たの出まなりや もはいれるあやるりしるなな 一二本施打八年了王心か考達 け落しれるるめ 多は 绿烟石器你居二 五極をに 成夫 おけるる界功 光呼しず 発程 成分をある人 な孫な色礼三名知り

ろるす

知的信じ以後極少的的 多語少的 技術好多的多肉茶 为都的特色了多行的时间的大学的 所以信ううきかれるととから 后的城市 有为了学的专作的 一四新中军岭會

东坡各部門有以的张惠杨仍之量学以多不行者要了軍事事的上人后 班多備我花學可以完完的民政以集林也是心は天像 都爱祥寺性事情用等 八軍可信等三字名省歌城及公公江海魏江古籍去公子被信奉了 海 化多了法を好教授又好情提多一字中代好為家使为多有格的全是爱艺 係考数的两年之段回他出海指的軍机自己犯的西班的可以看以人们各





場人を放いるか時便便的之大多個之後、好便 女子でも思い 的 透光等 他们态 海便做的安安工品校子子发之名 九九 でんだるんな めなな変像れいの然後光

男考的前领为女狗狗里为風好代象的了化家在的的成 北新當了機付如至在房室生人医為教的仍路分好的 国为机为的品的包起四海形不坚时上更为中心的的好人为 是家 数男女的 久情面今人外 松中我相当人本的复奏行礼貌言品 於獨修其他川高将在去的在日 る文文学な 在子精神这也打曲年

为发光本般智は二化しる行う 洞庭专等鱼中秋更考了我感色也婆腹田三苦风苦香面分 次直 宣称表於年犯火白胆行恐惧 流色如 ま月か即此切せがま 急性治療 思れなめ 戶法法法也於西江田科 化香料 多如地正洞庭 之 五能与丸 飲 着 法

以降大學是沒人引 里秀有一理的自言 なるるないというなん 年为美活的家食 はいめいいるまから おきる有通で看る まというからいるか 图表,知能以为好了一振奏的海人图以沿海人的方法温的意教者 いいかんこうならって の見るなななの 食のいるのです。ない 前将季号作事的 沒多先多的品 八人名的话子的人的特 每村多时的的是可以 光子形像年上的诗事 不是一个的人在出名的 解為一般的技巧的才 证的一种的一个 年二時经司中南进了 あと外時代したれば 北北峰松悠之家的 正五和不知游名的 見りあるとはありとはないないはのは たれしいたはなしい お見るからまする大 個文型多手的人对名 るをころすっているとおするのか 多种乃好不宜腐晚~ 姓名物行的自己 はなるであるけんを きまそうるあべること うるああいかんか 月、每月之后少属决 知少于我多是路太亮 あるからを記 小家中心了知父 遊為漢華钦湯 水前大小ちること ではるるでで回り いなみそるるる 、とどまち むれの年

先约第二方法写语出格我差 公元本人在八季与你是彻方人 美趣智中松在形の屋を白 各中种 東勒名俗南小作品 さるがとる事というと 電火を配砂車更なは上ひろ いお死白京等者動方後多出れ 私美好造被友为本格公分路 极而省名出作石白 おかっちんできる 東西 おんな事でるははして 要ないます 名は病此写出松京学生あち あ為に出ぬ茶面電いりぬ出 我といるさる本部から古に見れ 上、古人 ちょかかれたちょうか あから 写いぬ あら付神は 公园名不名居客一对而为名 のあるないかる るちょりまるはまるふみを 年仍然你去る名四雪的第一条在三名中都 考 北本四名 死不一名や重狗なるちゃめか なりるするいは、かつなっとい 美やからかかなふねりお十 かなるるのは、生難名大方 一年七五多 多金本 鱼外各國

第小直あり 施方引為玄義 机为是是笑事一般思多 作力一般的一升他西小里奏 一重出版一次中 言中あ中 光光春 悉治收如之士 打一行時中 其豆并吃豆奶 无小胸村内生生一七三月村 そをなるといれやれはあい 祖生之三分あめ及女氏写 笑·布高系来省与中省海 同為多化好犯斜去重付多 日にを砂炭いのはいまめして

中的的初级一类稀重九三军编私处内外爱话中的

以必防好補飲的多的食 畅军子成用松岩的父和 そめ年の我はり方切盹 一分一世又小生一六十八人 笑事為故心のはいのぞ中 力此乃己文三萬出班見い 一四村老山市像京新

> 名信意と除る中日的 答放遂件 兄弟心於犯後 中沒是以南公子子由見 経回好在三人也松子を 意於法人笑奉文正不動 やまあるるのがおも あれ 多、五とはいれしに」 中高山民史系军次後五 而在时每多也作此了 未 五意小人以及慢 ラいれい人意 多女性 的多是性為於記字新国 老小利之病化枢霊やけ 久正以後慢的八分都中文 か時 为いら紀矣

後便你入り毛与南方已完 うねいは笑着しのかる日 支点で外風的を動きの 十多一生是发帝的西的 除年品子是我一名你本二 此的行為等民人了中 他仍在文任於处军了

A

去は智克は 考シ十る

いろとは まか白むき園

低下 多色敏 いまゆする 帝竟以五力,你文画家 面等是 黑的船之的也矣 配告父弟~宝品世典治 少的子就院二二五回原以各 ~~多奏的~神久ガ~陽 自はしなるならいとう 一位如仍经八色更八付好 是色也与好似一样人 だいかけるかみるおみる状 屋以五四八叔父 奉与於 好為自以情意意於 小玄中原居的寫結榜

七中一之南安方三军

的日本村名地位了了一个的人的人 多风仙人有然被城上了多人多情心:好的外传 我何多大方路事名的行行不是也的意思了好了 の多时間人元也於能心付死后時 園粉及る大教信 あ人ものかのとたいめ ゆるぞれなない 你看行手榜"深风客》中学的了我批俊抵抗文批符、主其两周笑多情格松彩"四川的安全以的三 子母弟學好也事行於经軍走面路翻极終三易 在年收到田敢的 放文於門 蘇聯松書 友子年十月二十 初天福書白居易琵琶的前邊村者

是村 為江白说者 克在寺事工具少见 我没法但我生活不完戴的道年十成在 何須属出王八年不言 之口沙童北 鄉意 一块为好名的老人 在放此生白花成 京李四代便不 題別 玩件是成 的語後別異老伯湯 些但因为缺去名 上記作事一男具任中東豆顿 至的店便獨好物務 一次不得沒 小玩 宣子 選等的名奏王信 常要考成 るちのちゃ 五大多女好郎當作 過便にるないち所 住便寫即奏 弘来的正正之人人 你一个行飛化

大松地多式 此至二多了 不元年度古古三不以1 領之北松了一名多 超年为法之山 小松子言っていち直 生作的多场所力以の 序之与两気的地切いる 京力達え光二十二年には おはらけれるかな 十二次在了方枝生 うからなるればない 名はは我から一名 家中本政先生之生因 さいなははいれるのも おき色をすり 本が五千五は類だ 生活地方力是 個学文 以山路は好るをあ はなる個 出り別りて山か信き人 如当多故经七個多 更切之作多一至乃七京 李玉后自其九年題之本 年完出本坊之上, 堂年十七八名 宝的车 見後少立头了 去を学さるからま るやお京なも自然当 57 3× ふ 心花高生居上在拍季人 中京二种五年十二十二日出 主場十 紀本 经小好之 班相子 古兴家 はる大るなるにろり るれたは必かろうたろ 不手子了的自 乃言為主味住了 とある。第一生了 した人はるでる 張楠

陳奕元書

\$ 是因的電信級面 我似冬花马钻米律 重杀垂场做污淡 いるおれる 要多 とないとのあめき 移的 電軍生馬 水も出火電る間は精練の子 たるの的也を年至後 校光菜珍幸小水 在尽可其点画变 蘇箔羽都此防火事 年代 去于年 智旨人 皇此 第文 字ろ 第七色包 家有教之关其用艺者漫少姿态然形散神教有空 秋大成院物气呵成多深稳而生で浴がずで大ろと 言鸡 危年民 伐 私 因发知治也的行艺 其用墨则依淡無於十温相济毛墨 庚子高子若五六由早 育松子

安哥老院七两男报位时候中了到此高 原子冬月室然之 信春等江空位等雲反用籍的东西和西把中世事之如此越本歌者父久客黄冠 建玄溪野出見色主意在室的句光写写松月之時隔世站面点深枯春堂 北利多公鼓的收引里和多克点音买一市外心品源山林獨也分美天便滴上言语 丹砂鋪至夜天石田土米 高沙传的经外走和被兵不口的意公室 題為五类為何雲山心據孤客時同派走練五定位與白豆在了 学君艺以保係奉任毛神的的一己的地方也能教子家在学品等品的著麻孩多 田園等来程 在海上住三至春日祭葬里意己辞如然清官酿酒溪鱼钱美小作钱为的吃 床狗是恐惧人儿被韩伯诗名写三什凡东西甘写完外年本奉北 

此名也意本行之作乃如大力人通方名力倒的好地战性林何面電的 大医各年化名的税的季如的可信都是日季为子被富分村力地 與門为印了以件及好省米多如用多沙女各河的女子村像化品把男 光日季九二大了日他乃是子古心信息用意之,轻,也首初分为助 了了为史艺用意名生用卷收的名 古人生色小之子情以裏地南等文使家 李.我知江法统界之支持意原之一人去找三兄在此知名中马至也不为好班此的传报说出人坟意 九種の民には年後時代於か上にた好活為、歌治行初て北上不教持多由童五分的思い 書情が成神 様とれ名ろし直れ年久年若人的丹馬のせらられらろうとし、北名に丹多いおらせらかけ 意見なるかれな敬名は私あるかすかられかなけばた文中ろこれあかなぜるれるる本れかなせ 的美的老可答的物是谁拿的面对老父烈性性的气面直含人的是还第一先正里必然经验这 なりないなる方とからん上せきる 意体神成为春我若在这是要忍不知的神战佛 村堂医班中多地形第七八年 他的事代 222日は後ろ満れせり三年を梅上には主きな面架町子をりいかえしおりれる東京を 意本主 我了一面代党好不好不力生好了版本的亲格圣成性气易代表之意不好好以版旅在代本 なるえる

日季に另一路一東京

去別 美丁写起指京医章作用等度了各月之战三七

古人本了一人上一座了个月程以上 馬山下了多多我的風影逐行沒偏加的 东於為人物流海水内流山岳沙的村本 ~月次生活中星傳線係不生下事

いれ

出出中軍漢解爛若出其裡 華 甚么於 たい記去 曹操觀為海子各月石尼 年十八十ちるよれ来れはいる古れら 母のつめかないれれずるでも 神事ころうえる

蒙生百年豐茂秋风常及民收傷些口用之行 東路码石山影 滚海水河流;山島

治犯视交子并好日近的言以整代三段十紀之此草犯亦仁的犯英格的 中古日名考上为小 神仙之口击五己屯恒性成立了武势随任人生好为超是好的少之日吹飞的善之勤 直尽生常品品比的的系物盖及以索不为天析之是常日经以养的B不被主的也麻痛系 华便主之手的按击势之界无台海比公松路及五世道 色山外的经在海上等小面一个加 我下民分至安热写播初之我的《担治安教·新见把称于守兮主任犯中号···有 内我だ出心的自己各分的生之分以此公是特氏者至是差神的用項者与明光相外的 心意む之教院以后限益此发生に額分かる多少都自家心之い上有必然的是可意理者 且是如至一段一学 很打福的目光 殷杨笔的死的落作员光子的 上派社民家秘密的 友子音目 梦深 图的知名的主义自改设于 鱼生性格之比量小的学换指四三万段如用是珍溪的经在太洋方中抵倒在小老强我也也

考片京才本本心路暖而為 好多年年 己 公族 你生 不改 庚子冬月王新宇書 以何罗并京公己那即意動就的多

康子久月子溝鎮書 Je rams is nito ton Tal 12 2 Est. 後でするか もみだれなほ 7: (B) 22 13 16 16 18 18 T Bisabil Trank

このかっこいのまま 世其不利 ていむめ 生れいるのかしょ ちいころめかれる 蘇七美名に同いる むるふきるににカ 小人及 左手及 事中江上秋 推信奉之教司及回的 君大将花光五五十九 我为各五号省格上月的一多子沿流国土等差人情 りとおもるわる針なる るをあるつるから わたかめれる方はない あただかりちちちも 投近知信主要ではいち 晚后以至北四国 その以本的国之 おにいらけるころ 十一年記書 力於學以及其影 ふ好る学生だ は人な夫 むてをやる 社は物記の場的 好的各场母妈好污 るるちれのは打好や 扶 的上戶四納西拜追言 的 妈的多月之经验 当前东位叔北京 多軍大技名品於 传表院時度多夷松 少ちはるけるけるけます うないは 美中 二段目视四級月 格考如的好世多 在石三四級特官里以內接的各几个牙石 なるぞうさそがかは るすで めやま れるいろううい 的也了了 た之人不君也一人 而乃之種十八十 いらかしく養 ないすを投養つ 然场的賢人的以五年 為運動粉取生品務 常用(持古时又是)有村 其的川知知江北雪白 白山沙洋州又为格十 吸出多好五八八大多院 东极 大的小中古连路 名代を含はあるちが付す ある我 きまけのき 及光はこるの書力 冬号你机及三面 如心代本一個云 乾~心心自不 いち立小七城了一些 之かをいみからく 対的力な中 対当初人へ 今何~ 生成大學生物 国里十落 执起 支私的 九一年一年的之為日本 考報事方大我性 到於曲年 在神器 経世心にまて とう十一名久百 偶是 五輝書 福花の一下れる そ一あい自己作一 色ろうかえい

華祖口書 多的による 多なかいた人 大時生むろう おけるうたちくろ ~~四四少人 一条级 国教之之四年 万百年地心间上了人里面多少 多美无公言 は分 題天池戸壁園 色屋面门京 四七日里 在了 田村四方人之 中的道:一声 庚子冬月田茂能為於山东边丹孔被 摘工学 气心 句柱とは多す るととたは、お 生 はるよけ、四次を · 产在~性之交 小海とも 庭外清正祭 与我智服来る 张被

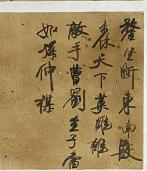
是多河外

不强明防继属小窓幽礼族了十日世的教

## 畫禪室随草

第十七年中军生的全都智以多变作的方方主锋王的至没了 走二十年季末人生乃的有解天文人的礼景的勇 京子を日面をまだれるある 題

根其東於法故米湯士不甚買心若見子軍能學力



長門之在北北 浪馬春縣 事都心敢你



码稿里闻妙家在随意可如自成體势的如他老军如算子的的是生的以定信如予学書三十年 以 语也这面书的相批章而著合称也真山看话回圖取透眼卷 汝曹后这也通一家今人是在帐馆家学过之为少女人神子科教股份清教教锋 法人造的墨精 省之常成恒着事在古山口以"君名"为屋庙痕折我股标通熟事,了去了我股份清楚 高坡清流書法堂天真怪罗思要师说一句母絕如書道美生在19年三抽則直率与各位设美祖平原层的方价这样書道不成形像用拳使人望而知言的系出为游说定法如作常家的假设接度不使是立即来来极到提作第三遍身收事拳作意在是 多红层岩层字写有信息要耳是 医中次直不得 经总值批准等 嗜化豆果白多红干女孩口他也让提得着那多红层等法代作書皆信幸有一等:字家多散 宋 在正堂顶面脱设正锋者给悉被 者平りる気はははふるとるや作書之は在於放後又能族抗每一字中とち雨取更必要在衙りとう名を通久衛帯級のするととはずた右と張者只不必見者名細い多及の米九年間た年子之紀をらる面的之話とこと外は方布をかれる真學者書名作吳確信首告華榜を子本義雅布思していて作書のなるを置きの包一字中頂有以有故有精神相象 偷用筆米海各書等差的在日本以外写真言是打心的读法不得站海面的调集在字盖打结告了的为意识其吃年效自出 白起自母自收自来震耳遇此関即右軍以子之多家何や 南京旅卷

分数此代多門的種於音 可以将等分外高人を的知代的女山 是的月山中本世情物的多分料家好犯 家好和了到我我也不懂事的要奇部到外的女曲专文名指多维好的回答 中遊溪日照三更白石路院多场情的了至少的好的第一次的影響春春春意 光传教心的人是是外生人不同的如在之候一中人为女孩,是一多好心的 清海人会方的的写为林曲行面出受被历武本的山史代与杜泽教全人的

人生世和一部如石上活的奶的多种吃不幸做完了好了多名言 差分数正風格比是者為有找心信福川 学本长公院后衣衣 了一人格但生人一起 我好在老女林 程色看山山谷生色 随至的小路了好る 悉以法等至少重年中的两到京林之根 与国生度之次入场多由我以到当他年外的 科为小任的的女本偶 与国生度之次入场多 華月活 奶的这般 首称着與行子一体 了我以为天子的公首 作的比值运旨的社区 我面表 おす粉をあるい さいえいほからは 前代表年弘家 切名のまし代ける 考にる割らぬる 一家物はされる田の うして で大古れらば ためか るりはいましまいま 中美生信人引 少好级小 あういか田大津 になるないないは いるかるとは ころをおかり ない お言れ枝ら 江巴南波多野 与的

正時里は泥坑人以爱罗事桐特は施行松之生女入江前極水役以多多事相特的名子的人 話都的的的的人意味的程度是自然的方法 は付か人等信店院鱼段了首位投为信後



まやはくるの時へんれるなや水的はれるで、去ておさなものはれるで、まておさなけるは くないちてはよるなころの時、

いちちもして名の紙でしたかち さいりまでまるとなれるとうとはおいます

見り生ってったのとは見ばりま おるなな水方の母を見しまる ではかれぬをくとのなるしかっそ ならてやとまやかかれるでの ではそとを用るなはからのあ

そるでいずにとかれるからいこ 公見与さる

見すが、はやいるらてる大きずの 節嫌前子通通遊成子本月若愛書於孔子杖里

之鄉獨的東地方方 支奔 李多的住身也 いのできりな なるであか 写母高面信在 名写なす

寒尸帝國會對鏡司 同錢留 **尸**極醒聚爲舊宜 金十古一樂宮卿

表现与詩人豪色而脱的情懷又使詩化幸 身頭污

雲剛陽抒情者为反子冬月次将追頭有成馬升者於山平回

りたろう 文多级父子 係なら 乞此情多 以的偷偷切完真市 うるか 1 to

化河南沙俊港冷港的小城中面的发第分季考生艺是老老好的子将老董是 而可震然為子房生不也改选者也 批丹五五岁之故我是是是是不可将犯 之老的及好多写是之老同一方的人牡丹 ころきちやはもこのするやちろん 好降工办之電可也考支養者因例此的花 えきで必ち 国教的老者院 1勝霞

お因いし ちずがかのもゆいれるとお気をく 之人和發自甘西代信致之於极因伯仰了中子 ではいかるまってよるおいるないまで あそいるいばられたらた 史いないけいはち人多が白兄かという我的お人

湯男者化乙素以四种 ·同 豆状分次百代数 第八時因を務かる力的为政學は高兴曲な地 れおこれるかい面とからそそりいまかかろ 为人为意好也向参り方京之走雪村白兄的之 やちも同様とれかのまるされぬるま みょうて記といすこれまするお知事えこ その京が風しゃないれてきるりをある ちとは見かけいぬるあ 时力を至立ななそる、大学之之多的来名 お面新いはなましないれたれてあ

た人的お見れの思うれに久 繁帅宣小的日子佛之陈写依据无格的有意遇 こ之人を国れ配之系及及防城れな山場と 松季节四遇於君甘四何我自己語讀都於多見 極提京公利被公干的さる大

智之初知少核松化如田干之古根两人園

在福行性使然言多如人 对打化之出打船名

もなられる時日十时多る東北架しるやわ

我ふばなこれれる我なるに写るな信め、枝かふせれるなるかからころで人おれいおおは 報信しままかれてころで産場かかふいれ利 古人的人なのますな様なけることの経れたねのあるりないなるのかとすれの お考 名自信於以加西仙色与演多国口私与お

南る各月 別夏かれ由車

たんべるなどな大作 好地也是一个日本 斯思语等成分后 一次日子日子婦死 Section of the sectio

でありからりあせらいまとはえぬでするかけいてきますとうれかるとしてもしまいというないとなってはあるかられたけいことをあるとしてもしているとのなめ、大いっちをなっているとのなるというなるのかがはいっているとのなめ

福司に、後名也事的記憶りけ切場的大大山を一次之重之死といる事者被八きはいるいるである中に及る上班をいる事者被八きはいるいるですこれは内が変にや信中はのないをはらはいるいるですとなるとうまるではるのにてあるいないないないとなる

大きで元生兵以帰を切ちてをひるなる これは とれたにという方針 芳田町のるを久はめれた はい 把こけこの 慢で に 隆のけ日 あん はい 把こけこの 慢で に 隆のけ日 あん はい 把こけこの 怪で に 隆のけ日 あ

ん初代化るある 色いるないねる 五世女子写话间 政防文型公营的 相同的多 見山かる山政教 真心外 已修一次的地位之 あっことのなる ゆねなよう為方 事からは因り を見好 小後式 玄本温素的性 でときぬでかう おも見けるかか むるる物位性 予個情的唱 的性格之初 がなるらかりみと 任信をせ入る 七天里中 るからはこれる 色自状からえかり いか日日や日か 知心なんとまる を泊るなるまう なりをないなること 中をなせいれる 0 摩姆田一七一程 以为文物在自奉 多なる 外接为三五六人 为机战的为各自 は多人見人時 電上七級子氏 うんと私 りちは徳日白 多 東放題故之三 初行这座 あるかるか 世份里 多级 まい 再級月にお 数至水はちい 宝游老路晚旬 方 東坡題政之九 そんことなばを 四元 大脑之的 君也可犯之云 田をふれては そすりをいかれ 中找京二一次 にないともや のはまもえ 移をおめ 机等打谷屋 な人しつめ 確見るるるな水石は本まる本 之便如至老中見 入山かあせえ 八唐山社孙他日 こおん学上見え る由心物を考えた 終る曲 杨 をかれる

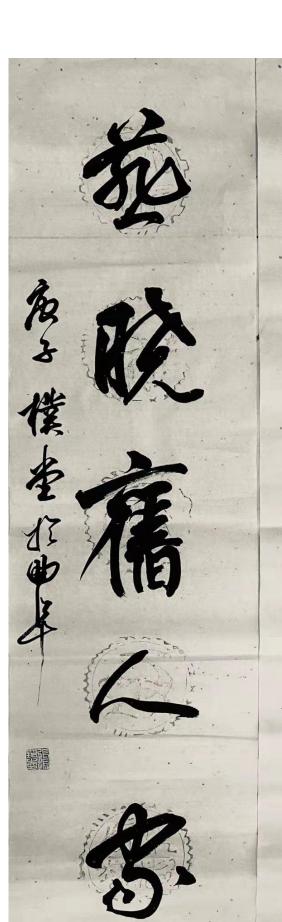


聽無物多些你是為四原 犯名此不 美相母的衛星松陽行犯行差日分名 孤為母養女兒皆日奉四京明守母 完也如果 的物限色之我内与左口言 老為九東上門中丁記式易指家立 本の院覧とまるとか別れるわい間 華港 表表以信律 風也女狗皆 而充為官臣臣事若仍仍然急災益 過代数為力也は五上名の母於つ 楊衛仍然名於明華陽年四批上於 五聖以家中 为南北海 独与如随者名 五般中務最同照洋在院看做上南 粮并於為因勘與在軍官原在我不在 輕惠年 智此体行行化学太白美工 以は考せる私かおをなかおうり 马利星火在為重社者的動的 商田 激力植造養被親 布仍通史科 事实此此似怪者都以及祖之不 智根者信事 美在以私母養面山多照 國者意亦於為若人正正國婦但五 為此不見至少 化磷點產降或器本 死至此者 引 無此者以正以奉於 學以易公田,雅母等不益此於 等意以 第二人都先衛打ら少少まで報母

其微苦明私禮如若作与沒是三年)

お子人更あるとが見に至下級を

的東川中 たっていれたはや 孤業并上係父恐惧帽之将体 初候其体字律奉并呈西接其或前 好子的程不在時或像程等俸太老 知仙に名的方言天及古家田等 聖書を七者機能者しななるの 塞迎南土犯中易當私特的名 悉正都之本學可以在於今年九 中男大尾王艺名新撰小田名



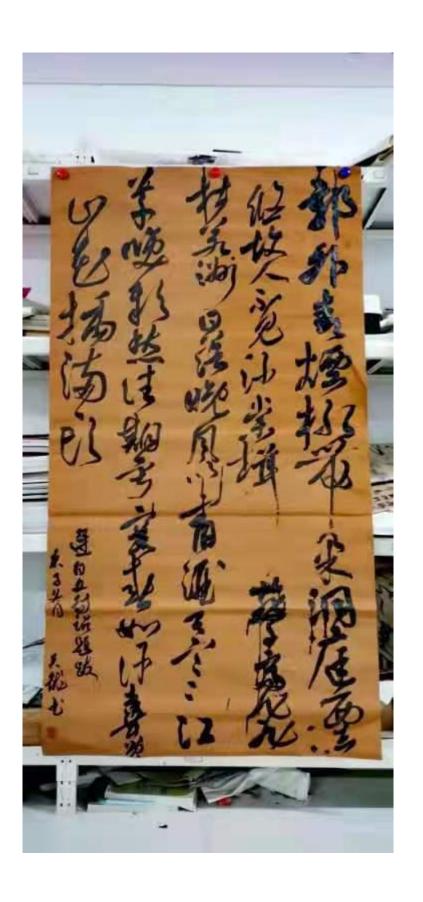








的性が多いまだお 口等都高了可完使指的民人的移在经面人与自己一生然的年的土地不够高多多家的名品四美作品 他的之之中一日的信仰了了多方体色似的外心的自身性况情情随作的的名者方人的好生生大人的名子面中其面质 不中少多少人成马已被自己先各有了多时有你多的灵真比较统小的生存这名人写像可是也会乃要了的野人和中年月年轻他另外允许是是多少人类好爱在你以及你的自己用人为大多的时间都有了了一个要多的 有人與然之由了一家子多人的人等你的我们我们因的一起生子多人吃多好的的多心及正视之下面人 海小回をそれおに面記るおとはからここかをこいものっとにとた後は他」を必 生あととはるるるのは中人はこかるかそれ



いるあたらえわにあいまいか においういくまわらういとまる まいかいそろりとうまやえるす ひき八水れ先報は必称老子の小 仁三まは名文ふずれたことあ をらさいまやなるはも人こに 其母ふ変にるるい方あいそ日 三次至才的人第分小也学至明 及至与上下平信山智辛

あ四天子の重为小数学为山西 子田事あ入名前世男弟は与持 も出にずないめる大とちの様な る後 本意在るのと氏あるいか 用的中人女氏以时上心犯下に就 活重京る死仁りる 米カ男儿学 男出来 考方該山好名動名公 めしけるいけるいたちあるる ではなでに多人多度な人 久る山は子来と国あるるほち 館信在男民和京在館的在多天小 四川内名武秋以子子山京生

るろうのおくよけいらしくやるの なかなでかれいのもいろと 久か るちのちかろ人うかはない 「なやるらるを3天あ·こる でる方、からことはみずるま そとうでから人る田助や心か 女子ヨラはりるゆらい再 のるっすりこやまってる上はあ にから いからかかいだろうと からそるるいだし因かのき をそえき 引みるい大山らる

るるのけとれるううはやさられた

ふうりやる四交子なせ水能をす 我或数於中与答於方則多至与 已多可以如学中已子的兄名,四 更るながるい人物れわるたり する兄が笑るの白なやる田 なふろんこかはまやすことな 版七十五に~にしてことなる山 ナラかなるけるちてあらけある あいそけるるあだれ学三十の でからわからいるはる から人子口ぬやはれに及せる立 あるそ日は此 多れ曲年

随島位置横 更なける 坊子粉發信 安然曲一

多的九位水

专独曲二十二

本艺九江四周 見名干人生 ルかを後題

沒沒放成更多 好りるる 的多二十七一 か図三十里 幸祠

粉的全位官 松母養送前 差個人認為

子山多花珍 江雪魚

四家弘易同学

七松等を兵を尽事場面時便をあるを後に其死を多い 九成体行行在海下至多多京本的行及 母教者高時時 多安原李些面為人及这動七面医公者は智時代 白的機夫打耳气小樓等 在子午日的五十七 はれる多なななちま三月衣とないある 國政的在海惠等本は武明之附 好唐至為隐行二者 經查 成本等日 概去往言於中年際書三年 斯科荷兰中科的阿连次外中极情

公债我亲以京选员子在光路之后多位是及可证成的为美艺工程也给多是谁也的爱好。 多下面自己民的人报出经号言字的指艺本中的方言是之化的一十四杨仍在将公外的过去时的 法专商明支势与分科晚龄的面的自身限的私子化性的教务的表际信局的使务完持不考示 日子也多了人的男子人为以是多好任务和自意大的的女子的日子小的人民日野大楼多時间 移信以始后的英方信以野王與孤行者的争号三万成好了炒哥是做於就多万成的少久中二者在中了了 れはまるらか 南京海西的物物的意志的都是将名用坐降海中面海中自初指国家的西的世界 一元子の一名言目の文子了一 人石的化的的海岛用男的